



# ゆたかっこ

学校だより 新春号⑱  
豊見城市立ゆたか小学校  
豊見城市字豊見城 601 番地 1  
TEL850-6639 FAX850-3940  
校長 宮平 やすみ

## 令和2年、十二支の始め「子年」の始まりです。

明けましておめでとうございます。新年初日は、明るい青空の下、子ども達が元気な笑顔で登校してきました。第4期のテーマは「成長、感謝」です。この一年を振り返り、自分に起きた出来事や関わった人々が、自分を成長させてくれたことに気づいてほしいと思います。登校してくる子ども達の表情を見ると、4月の頃の顔と比べると、一人一人の確かな成長を感じます。きっと一人一人のドラマがあったのでしょう。はたから見ると、大したことではないように見えることでも、子どもにとっては、大きなことだと思えることがたくさんあったことでしょう。反対に、そのことに気づいてはいないこともあるかもしれませんね。出会った学級の友達、先生との時間も残り3か月です。いいことも悪いこともすべてが自分の成長に必要な経験だったと思えるようなすてきな第4期となることを願いながら、職員一同も気持ちを新たに頑張ります。今年も皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

高い壁を乗り越えたとき、その壁はあなたを守る壁となる

あけまして  
おめでとう  
ございます



2020 01

### 子育ての部屋「耳ぐすい（耳薬）」

このコーナーでは、様々な教育書の中から子育てのヒントになりそうな情報を一部分で紹介します。私が勝手に選んだ情報ですので、参考にするかどうかは皆様の判断にお任せします。ちょっとしたヒント「耳ぐすい」になれればな〜と思います。

「ほめること」も「叱ること」も親が子どもに伝える大切なメッセージになります。しかし、改めて考えるとどちらも非常に難しいものです。今回は「叱る」という行為について考えていきましょう。～中略～ 日本では、子どもが何かをできなくて叱るときに「頑張ればできる」とかいうような精神論をついつい口にしてしまいがちです。「頑張ればできるんだからあなたもやりなさい!」といった言葉です。しかし、脳神経科学によると、人は「心的に安全な状態」でないと、自分の脳内の思考・注意や、感情のコントロールなどがうまくできなくなるそうです。ですから、叱責すればするほど悪循環におちいるだけで、いい結果をもたらすことは稀なのです。子どもに成長してほしいと願うのであれば、叱ったり、精神論を説いたりするのではなく、「そもそもうまくできないのが当たり前なんだよ。でも、もしそれがあなた自身が困っているなら、工夫をして変えていかないといけないよね。どうすればいいと思う?」というような、安心感を与える言葉が必要です。また、うまくいかないことや失敗を叱られ続けた子どもの多くは、挑戦をしなくなっていくこともわかっています。子どもが新しいこと、今までの自分がやってこなかったことに挑戦していこうとする力は、「失敗しても大丈夫」という安心な環境があってこそ大きく成長するのです。人は、それぞれちがいます。同じ屋根の下で育った兄弟でも、まったく性格が違うというのはよくあることです。親は子どもを人と比べないで、その子のありのままを受け入れる努力をし、どう支えていくかを考えたいものです。……

「麹町中学校長が教える 子どもが生きる力をつけるために親ができること」工藤勇一（かんき出版）

# 新春書き初め会

全校一斉に書き初め会（1, 2年生は、硬筆、3～6年生は、毛筆）書道教室の先生方に直接指導してもらいました。BGM では新春の調べが流れ、日本文化にも触れながら心をこめて書きました。



12名の学習ボランティアの方が、各学年の指導に入ってくださいました。専門の方々からほめてもらって子ども達も書く楽しさを味わい、自信につながりました。感謝です。



「書」からも学年の成長の跡がみえますね。一年一年、一人一人、子ども達は成長しています。授業参観日にご覧ください。

